

▶「読書の扉」一覧

単元名	書名	著者	発行者	発行年
第一部				
一	ここがないもの 新哲学対話	野矢茂樹文／植田真絵	中央公論新社	2014年
一	納得の構造	渡辺雅子	東洋館出版社	2004年
一	思考の整理学	外山滋比古	筑摩書房	1986年
一	ロンリのちから	NHKロンリのちから』制作班／野矢茂樹監修	三笠書房	2015年
一	レトリック感覚	佐藤信夫	講談社	1992年
一	マンガは哲学する	永井均	岩波書店	2009年
二	「聴く」こと力	鷺田清一	筑摩書房	2015年
二	コモンの再生	内田樹	文藝春秋	2020年
二	ヴェニス商人の資本論	岩井克人	筑摩書房	1992年
二	遅いインターネット	宇野常寛	幻冬舎	2020年
二	ダメ情報の見分けかた	荻上チキ・飯田泰之・鈴木謙介	NHK出版	2010年
二	「しがらみ」を科学する	山岸俊男	筑摩書房	2011年
三	新・環境倫理学のすすめ 増補新版	加藤尚武	丸善出版	2020年
三	自然再生	鷺谷いづみ	中央公論新社	2004年
三	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社	2020年
三	経済学は温暖化を解決できるか	山本隆三	平凡社	2009年
三	石油の「埋蔵量」は誰が決めるのか？	岩瀬昇	文藝春秋	2014年
三	沈黙の春	レイチェル カーソン／青樹 築一 訳	新潮社	1974年
四	記号論への招待	池上嘉彦	岩波書店	1984年
四	女ことばと日本語	中村桃子	岩波書店	2012年
四	新敬語「マジヤバイっす」	中村桃子	白澤社	2020年
四	ことばと文化	鈴木孝夫	岩波書店	1973年
四	言葉の誕生を科学する	小川洋子・岡ノ谷一夫	河出書房新社	2013年
四	お姫様とジェンダー	若桑 みどり	筑摩書房	2003年
五	認められぬ病	柳澤桂子	中央公論新社	1998年
五	新版 動的平衡	福岡伸一	小学館	2017年
五	iPS細胞の研究室	京都大学iPS細胞研究所国際広報室	東京書籍	2020年
五	「生きている」を見つめる医療	中村桂子・山岸敦	講談社	2007年
五	生命学をひらく	森岡正博	トランスビュー	2005年
五	タンパク質の一生	永田和宏	岩波書店	2008年
六	アカシヤの大連	清岡卓行	講談社	1988年
六	白百	原研哉	中央公論新社	2018年
六	「自分だけの答え」が見つかる 13歳からのアート思考	末永幸歩	ダイヤモンド社	2020年
六	日本人にとって美しさとは何か	高階秀爾	筑摩書房	2015年
六	「美しい」ってなんだろう？ 美術のすすめ	森村泰昌	イースト・プレス	2011年
六	フェルメール全点踏破の旅	朽木ゆり子	集英社	2006年
七	物理学と神	池内了	集英社	2002年
七	人工知能時代を(善く生きる)技術	堀内進之介	集英社	2018年
七	宇宙はなぜこのような宇宙なのか	青木薫	講談社	2013年
七	私たちはどこから来て、どこへ行くのか	森達也	筑摩書房	2015年
七	ヒトの言葉 機械の言葉	川添愛	KADOKAWA	2020年
七	科学とはなにか	佐倉統	講談社	2020年
八	地下へ／サイゴンの老人 ベトナム全短篇集	日野啓三	講談社	2013年
八	日本の思想	丸山真男	岩波書店	1961年
八	文明論之概略を読む 上・中・下	丸山真男	岩波書店	1986年
八	市民社会とは何か	植村邦彦	平凡社	2010年
八	ポピュリズムを考える 民主主義への再入門	吉田徹	NHK出版	2011年
八	民主主義とは何か	宇野重規	講談社	2020年
第二部				
一	共通感覚論	中村雄二郎	岩波書店	2000年
一	書物の変	港千尋	せりか書房	2010年
一	輿論と世論	佐藤卓己	新潮社	2008年
一	表徴の帝国	ロラン・バルト／宗左近訳	筑摩書房	1996年
一	メディアと日本人	橋元良明	岩波書店	2011年
一	メディア文化論 改訂版	吉見俊哉	有斐閣	2012年
二	エクソフォニー	多和田葉子	岩波書店	2012年
二	わかりあえないことから	平田オリザ	講談社	2012年
二	バイリンガル・エキサイトメント	リービ英雄	岩波書店	2019年
二	「国語」から旅立って	温又柔	新曜社	2019年
二	日本語が亡びるとき	水村美苗	筑摩書房	2008年
二	言葉とは何か	丸山圭三郎	筑摩書房	2008年
三	ははがうまれる	宮地尚子	福音館書店	2016年
三	ポスト資本主義	広井良典	岩波書店	2015年
三	子どもの貧困II	阿部彩	岩波書店	2014年
三	心理学化する社会	斎藤環	河出書房新社	2009年
三	社会的共通資本	宇沢弘文	岩波書店	2000年
三	ソーシャルワーカー	井手英策／柏木一恵／加藤忠相／中島康晴	筑摩書房	2019年
四	マルクスの山(上)(下)	高村薫	講談社	2003年
四	競争社会の歩き方	大竹文雄	中央公論社社	2017年
四	「欲望」と資本主義	佐伯啓思	講談社	1993年
四	消費社会から格差社会へ	上野千鶴子・三浦展	筑摩書房	2010年
四	消費社会の神話と構造 新装版	ジャン・ボードリヤール／今村仁司・塚原史訳	紀伊國屋書店	2015年
四	豊かさの条件	暉峻淑子	岩波書店	2003年
五	スポーツの魅惑とメディアの誘惑	阿部潔	世界思想社	2008年
五	現代社会はどこに向かうか	見田宗介	岩波書店	2018年
五	彼女の「正しい」名前とは何か 新装版	岡真理	青土社	2019年
五	スポーツを考える	木浩二	筑摩書房	1995年
五	軋む社会 教育・仕事・若者の現在	本田由紀	河出書房新社	2011年
五	メディア・コントロール	ノーム・チョムスキー／鈴木主税訳	集英社	2003年
六	ものぐさ精神分析	岸田秀	中央公論新社	1996年
六	時間と自己	木村敏	中央公論新社	1982年
六	からだ・こころ・生命	木村敏	講談社	2015年
六	石原吉郎詩文集	石原吉郎	講談社	2005年
六	靴の話 大岡昇平戦争小説集	大岡昇平	集英社	1996年
六	永遠平和のために／啓蒙とは何か 他3編	カント／中山元訳	光文社	2006年
七	世界は美しくして不思議に満ちている	長谷川真理子	青土社	2018年
七	不可能性の時代	大澤真幸	岩波書店	2008年
七	自由という牢獄	大澤真幸	岩波書店	2018年
七	日本社会のしくみ	小熊英二	講談社	2019年
七	失敗学のすすめ	畑村洋太郎	講談社	2005年
七	洪水と水害をとらえなおす	大熊孝	農村漁村文化協会	2020年
八	自然な建築	隈研吾	岩波書店	2008年
八	私の個人主義	夏目漱石	講談社	1978年
八	東京百年物語1 一八六八～一九〇九	ロバート・キャンベル／十重田裕一／宗像和重編	岩波書店	2018年
八	文明論之概略	福沢諭吉	岩波書店	1995年
八	現代日本建築家列伝	五十嵐太郎	河出書房新社	2011年
八	「しきり」の文化論	柏木博	講談社	2004年